

事務事業評価表

○基礎情報

課名		道路管理課	作成責任者	常勤		その他			時間外勤務時間	
施策目標	43	身近な生活道路を安全で快適にする	岩澤 斉朗	職員数	再任用フルタイム職員数	再任用短時間職員数	臨時職員数	非常勤嘱託職員数	総時間	一人あたりの月平均
				23		1	1	1	7,229	26.2

1 施策指標と実績

施策指標名	第2次実施計画 の現状値	目標値 (27年度)	実績値			
			24年度	25年度	26年度	27年度
狭あい道路の整備延長率	18.2%	19.6%	18.7%	19.1%	37.3%	38.0%
橋りょう耐震補強等整備橋りょう数	5/14橋	14/14橋	8/14橋	11/14橋	14/14橋	-
市道0107号線(桜道)の歩道整備延長	325/600m	620/620m	420/620m	620/620m	-	-

評価の見方

- S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった
- A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった
- B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
- C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める
- D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない
- E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
- Z 未着手事業
- 実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった

2 事業実績(平成27年度)

No.	事務事業名	事務事業の目的・目指すべき成果	事務区分	実績			従事者数	会計区分	H27予算 H27決算 (千円)	事務事業の指標名	H27目標値	H27実績値	評価	業棚選定
		何を・誰を(対象) どうする(生まれる成果)		業務計画	広域連携	行政改革								
1	狭あい道路整備事業	狭あい道路を整備推進することにより、防災性・住環境の向上を図り、安全な生活道路として整備する。	自治事務	●			3.02	一般	364,240 ----- 293,733	事業件数 整備延長率	300件 19.60%	268件 37.99%	S	●
2	道路の占用、掘削等の許可に関すること	道路の占用、掘削等の申請書の提出により、調査し許可を適切に行う。	自治事務				3.15	一般	0 ----- 0	申請・許可件数	2,000件	1,971件	S	●
3	道路の占用料等の徴収に関すること	道路の占用料等の徴収を適切に行う。	自治事務				0.70	一般	0 ----- 0	道路附属物占用料 道路損傷復旧負担金	200件 1,900件	326件 1,815件	S	
4	市道7263号線道路整備事業	現在、行き止まりとなっている道路を通り抜け可能な道路とすることで道路利用者の安全・安心を図る。	自治事務				0.03	一般	0 ----- 0	公有財産購入／埋蔵文化財発掘調査	発掘調査	実績なし (H26年度より休止)	Z	
5	橋りょう耐震補強等整備事業	既存橋りょうの耐震補強の整備促進を図り地震時の安全性を確保する。	自治事務				0.30	一般	0 ----- 0	橋りょう数	橋りょう耐震補修工事については終了 長寿命化の協議の実施	橋りょう耐震補修工事については終了 長寿命化の協議 3回	A	
6	道路舗装修繕事業	舗装の穴あき等の損傷個所を早急に復旧し、歩道の段差や起伏を解消し歩行者や自転車等の安全を確保する。	自治事務	●			0.59	一般	129,053 ----- 127,996	舗装面積	11,600㎡	7,048.8㎡	A	

7	道路整備事業	市道の路面・歩道等の整備を行い、交通の安全性の確保を図る。	自治事務				0.27	一般	96,680 ----- 63,206	道路整備面積	4,000㎡	工事用地 0㎡ 515.16㎡ 補償 1件	A	
8	側溝浚渫事業	市内各所の側溝の浚渫を行う。	自治事務				0.39	一般	12,274 ----- 11,721	浚渫延長	7,277m	浚渫延長 2,327m 集水桝浚渫 449箇所	S	
9	駅周辺及び道路施設等の維持管理	駅周辺及び道路施設等の維持管理により利用者の安全運行を確保する。	自治事務				0.91	一般	75,469 ----- 69,691	清掃・巡回、点検の実施回数	清掃：毎日、巡回：随時、点検：毎日	清掃：毎日、巡回：随時、点検：毎日	S	
10	道路安全施設設置事業	歩行者や車両の安全を確保するため、道路照明灯・道路反射鏡・路面標示などの整備を図る。	自治事務				0.60	一般	91,002 ----- 90,702	安全施設設置箇所数	15灯 85面	20灯 103面	S	
11	市道等舗装事業	市・私道未舗装道路を舗装し、歩行者の通行の安全と住環境の改善を図る。	自治事務				0.23	一般	50,448 ----- 44,139	舗装面積	1,112㎡	3,566.5㎡	S	
12	土木施設災害復旧事業	災害を受けた道路及び橋りょうの復旧工事を行う。	自治事務				0.24	一般	8,400 ----- 600	被災箇所への迅速な初動対応時間	3時間以内	3時間以内	S	
12-2							繰越	5,119						
13	道路の管理	市道保持のため維持修繕を行う。	自治事務				9.30	一般	20,852 ----- 18,395	舗装路面補修箇所数	1,400箇所	1,450箇所	S	
14	道路舗装損傷復旧事業	事故の原因となる舗装の穴あき等損傷箇所を早急に復旧する。	自治事務				0.40	一般	24,083 ----- 22,939	復旧面積	2,000㎡	1,826㎡	S	
15	道路小規模修繕事業	市道の雨水桝設置、舗装修繕、ガードレール等小規模な損傷復旧を行う。	自治事務				0.98	一般	29,266 ----- 29,246	修繕箇所数	45箇所	56箇所	S	
16	受託土木工事の設計、施工及び監督	受託土木工事の設計、施工及び監督を行う。	自治事務				0.15	一般	0 ----- 0	受託工事の件数	2件	0件	実績なし	
17	市道0210号線（梅田通り）整備事業	歩行者の安全確保のため、歩道整備を実施する。	自治事務	●			0.13	一般	16,134 ----- 0	公有財産購入及び歩道整備工事	L=34m	用地 0㎡ 工事 0㎡ 業務委託 2件	E	
17-2							繰越	967						
18	駅周辺道路施設等更新事業	駅周辺及び道路施設等の維持管理により利用者の安全運行を確保する。	自治事務	●			0.28	一般	91,722 ----- 69,629	エレベーター・エスカレーター の改修・修繕	エスカレーター0基/エレベーター9基	エスカレーター2基/エレベーター2基	S	
18-2							繰越	21,665						
19	茅ヶ崎駅南口駅前広場改修事業	茅ヶ崎駅南口広場を改修し、快適な歩行空間を整備する。	自治事務				0.45	一般	2,980 ----- 2,322	広場の整備	照明灯整備工事	協議資料作成及び交通量調査	A	

20	幹線道路舗裝修繕事業	計画的な維持管理による安全安心な道路環境の確保を図るため、幹線道路の舗裝修繕工事を行う。	自治事務				0.22	一般	1,100 ----- 530	幹線道路の舗裝修繕工事	A=4,374㎡	路面空洞化調査(二次調査)及び修繕委託 2箇所	C	
21	市道4220・4201号線(大山街道)整備事業	未歩道箇所や幅員の狭い箇所のある「大山街道」を地域との調整を行い、歴史や安全に配慮したを整備をする。	自治事務				0.09	一般	4,655 ----- 0	関係者との調整	検討	検討	B	
22	災害応急対策活動	本市域に、地震等による多発的災害が発生した場合、課として応急対策活動を迅速的確に対処する。	自治事務				0.79	一般	0 ----- 0	-	-	-	-	
23	庁内共通事務	-	自治事務				0.42	一般	0 ----- 0	-	-	-	-	
	合計						23.64	予算	1,018,358					
								決算	844,849					
								繰越	27,751					

3 実施計画事業の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析	
<p>道路管理課の第2次実施計画の事業数は、「災害応急活動」「庁内共通事務」を除き21事業である。これらを指標の達成度及び事業の実施効果から見ると、最も多かったのは「S」の13事業であり、以下「A」4事業、「B」1事業、「C」1事業、「E」1事業、「Z」1事業、「実績なし」1事業、となっている。事務事業No.4「市道7263号線道路整備事業」は、用地交渉不調により休止したため「Z」評価としました。事務事業No.5「橋りょう耐震補強等整備事業」は、指標の耐震補強等整備工事については26年度に終了し、27年度は長寿命化修繕事業の協議を実施したので「A」評価としました。事務事業No.16「市道0210号線(梅田通り)整備事業」は用地交渉が不調に終わり、歩道整備ができなかったため「E」評価としました。事務事業No.19「幹線道路舗装修繕事業」は、指標の舗装修繕工事に対し、路面空洞化調査委託の実績であったので「C」評価としました。事務事業No.21「市道4220・4201号線(大山街道)整備事業」は、概ね「大山街道」のあり方の方向性について地元自治会を合意に達し、測量委託を27年度補正予算化し、28年度実施しているので「B」評価としました。</p> <p>指標の達成状況に着目すると、80%以上達成できた事業が15事業、達成できなかった事業が5事業であり事業が実施できたと考えている。しかし中には事務事業の成果指標として、設定の検討が必要なものがいくつかあると考える。</p> <p>事業の成果に着目すると、成果があった事業が16事業、今後見込める事業が2事業である。道路管理課の事業は定例定型的な維持管理が主な事業なので、こうした評価となると考える。</p> <p>一方、職員の時間外勤務に着目すると、総時間で7,229時間、一人当たりに換算すると月平均26.2時間であるが、行Ⅱ職を除く行Ⅰ職については月42時間になる。苦情要望の増加による現場対応や、大雨・台風・積雪対応等があり、事務処理が時間外で行うことが一因であるが、事業手法などの見直しを行い、時間外勤務を縮減する必要がある。</p>	

4 新たな行政改革重点推進事業

No.	事務事業名	重点事項名	取り組みの概要
1	該当なし		